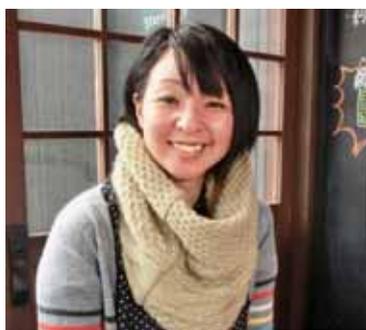


飛島をもっと知ってもらいたい！



飛島メインスポット『しまかへ』

山形県唯一の離島、飛島にある『しまかへ』は、観光の拠点として平成24年にオープン。飛島の食や情報を提供し、島の人と観光客をつなぐ場所を目指している。『しまかへ』という名前は、島の人が「カフェ」を「かへ」と発音することから。島の人にも観光客にも親しまれるような場所になることを願ってつけられた。今では年間6000名ほどの観光客が『しまかへ』を訪れている。



CAFE SPACE
しまかへ
店長 わたなべ ようこ
渡部陽子さん

飛島にもどって何かしたい

その『しまかへ』で店長をしているのが渡部陽子さんである。飛島で生まれ育ち、「島で働きたい！」という気持ちが強かったが、働く場所も少なく断念していた。しかし、『しまかへ』の開店に携わり、事務局員として関わることにより飛島へUターンすることができた。「したい」と「出来ること」がうまくマッチングできたと語る。また昨年10月からは酒田市の屋台村北前横町で『炭かへ』をオープン。飛島の映像を流しながら食材を提供している。

食材でつながる関係

オープンした頃は、島の人たちに『しまかへ』を理解してもらうことに一番苦労したという。いかに利用してもらえる空間にするか、飛島の窓口として認めてもらえるか、信頼関係を築くことが大変であり、そこからのスタートだった。そのうち、徐々に、島の人たちと一緒にカフェを運営しているという気持ちが大変であり、続けることが何より大切なのだと気付いたという。

今では「たくさん採れたから食べて」と野菜や魚を持ってきてくれたり、飛島の旬の食材を使ったメニューを提案してくれたり、たくさんの手助けをもらいながら島の人たちとのつながりを実感している。



これからの『しまかへ』

渡部さんと島の人や、島の同士だけでなく、島の人たちと観光客がつながる場としての役割も変化している。飛島の旬の食材を通じて観光客から声をかけられることも多くあり、それが島の人たちにも活力になっている。そんな『しまかへ』は、今後積極的に島の人と観光客をつなぎたいという。カフェの他に修学旅行の受け入れや弁当手配、観光スポットの紹介など多岐にわたっている。『炭かへ』でも飛島の映像を流すことでPRを行っており、飛島の交流人口を増やすことが今後の目標のひとつである。



インパクト大！
とびうお焼き干しだしアイス

手間ひまのかかる
とびうおの焼き干し



飛島名産の男爵いも
「ごどいも」

しまかへの人気メニュー
イカのんにくやき



カフェスペース しまかへ

営業期間 4月下旬～10月中旬
営業時間 10:00～21:00
お問合せ 0234-96-3800

島の炭火焼き カフェ&バル 炭かへ

営業時間 17:00～23:00
定休日 日曜日
お問合せ 090-7070-1075

島の駅とびしま WEBSHOP

<http://shop-tobishima.com>
「飛島アイス」や「ごどいもまる」
等を取扱い